

# 麻酔科蘇生科

## 1. 基本研修体制

- 1) 3ヶ月を基本単位とするが、到達目標などにより1～3ヶ月も可能である
- 2) 基本的には臨床麻酔を通じて、各種の気道確保法、呼吸循環管理、人工呼吸法、および各種の鎮静・鎮痛薬などの臨床薬理など、プライマリーケアに必須の手技、理論を学習する
- 3) 各研修医は研修期間中に、麻酔科専門医や麻酔科指導医とともに診察、治療にあたる
- 4) 研修期間中は、その研修の期間や内容により夜間や休日の緊急手術麻酔を担当する
- 5) 症例ごとに検討会にて知識の習得程度を評価する

## 2. 研修目標

### 1) 短期研修（期間1ヶ月）

- ① 末梢静脈路確保
- ② バッグバルブマスク換気
- ③ 成人症例における気管挿管手技の習得
- ④ 脊髄くも膜下穿刺の基本手技の習得
- ⑤ 人工呼吸管理の基本的設定と換気の評価
- ⑥ 基本的な酸塩基平衡、輸血、輸液、代謝の理解
- ⑦ 基本的な循環評価と作動薬の使い方の習得
- ⑧ 術後の鎮痛薬。鎮静薬使用の基本の習得
- ⑨ 心肺蘇生法の基礎的知識と手技の習得

### 2) 中期研修（期間3ヶ月程度）

- ① 動脈路確保
- ② 中心静脈路確保手技の習得
- ③ 成人症例におけるラリンジアルマスク挿入の習得
- ④ 経鼻挿管やマッキントッシュ型以外の喉頭鏡による気道確保器具の習得
- ⑤ 脊髄くも膜下麻酔の習得
- ⑥ 腰部・仙骨部硬膜外麻酔手技の習得
- ⑦ 末梢神経ブロックの介助と超音波診断装置の使い方
- ⑧ 脳神経外科や合併症を有する患者の麻酔の習得
- ⑨ 小児症例の手術期管理

### 3) 長期研修（期間6ヶ月以上）

- ① フルストマックなどにおける迅速麻酔導入法の習得
- ② 胸部・頸部硬膜外麻酔
- ③ 分離肺換気理解と二腔チューブによる気道確保
- ④ 帝王切開術の麻酔
- ⑤ 新生児、幼小児の麻酔
- ⑥ 開心術・大血管手術麻酔
- ⑦ 経食道心エコーなどによる循環管理の介助と知識の習得
- ⑧ エコー下または電気刺激による腕神経叢ブロック、下肢ブロックなどの習得
- ⑨ 肺動脈カテーテル確保手技の習得
- ⑩ 各種の気管挿管困難症にたいする対策手技の習得
- ⑪ 無痛分娩法の理解と知識の習得
- ⑫ 癌性疼痛、ペインクリニックについての基本的事項の習得
- ⑬ 救急・集中治療についての基本的事項の習得

### 3. 研修スケジュール

基本的には手術室における臨床麻酔である。研修期間によっては救急・集中治療や緩和、ペインクリニック研修の期間を希望により入れることが出来る。研修6ヶ月以上の長期研修希望者は大学病院以外の道内・外での麻酔科研修も可能である

### 4. 週間スケジュール

おおよその週間スケジュールを示す。

	月	火	水	木	金
午前	抄読会 臨床麻酔	臨床麻酔	研修医勉強会 臨床麻酔	臨床麻酔	症例検討会 臨床麻酔
午後	臨床麻酔	臨床麻酔	臨床麻酔	臨床麻酔	臨床麻酔
夕方	術前術後検討	術前術後検討	術前術後検討	術前術後検討	術前術後検討

麻酔科蘇生科指導責任者 岩崎 寛 教授  
高畑 治 准教授  
国沢 卓之 准教授  
指導教員数計 10名

麻酔科蘇生科についての質問は e-mail: [hiwasaki@asahikawa-med.ac.jp](mailto:hiwasaki@asahikawa-med.ac.jp)

または TEL:0166-68-2583 FAX:0166-68-2589 岩崎 寛 まで